

令和元年度 隊員養成研修の変更部分について

1 医療対策拠点の支援活動 (Module3.2-2 及び 6.3)・・・新規

(1) 概要

本年3月に東京DMAT運営要綱及び東京都内大規模地震災害等発生時活動要領の一部を改正し、東京都地域防災計画に基づき、震度6弱以上の地震が発生した二次保健医療圏（その他都が必要と判断した二次保健医療圏）の基幹災害拠点病院及び地域災害拠点中核病院に設置される医療対策拠点の東京都地域災害医療コーディネーターを支えるため、東京DMAT指定病院に所属する東京DMAT隊員をもって、早期に地域コーディネーター支援する体制を構築したことから、隊員養成研修のカリキュラムに本支援活動を新たに加える。

(2) カリキュラム

ア 座学研修

種別	内容	担当	(時間)
座学	<ul style="list-style-type: none"> ・医療対策拠点の概要 ・医療対策拠点の活動 ・東京DMAT隊員による医療対策拠点の支援活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療図上訓練の運営に関わっている東京 DMAT インストラクター 	30分

イ 実技研修

種別	内容	担当	(時間)
実技	<ul style="list-style-type: none"> ・地域災害医療コーディネーターとの連携 ・情報収集管理(時間管理、記録、連絡調整) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療図上訓練の運営に関わっている東京 DMAT インストラクター 	25分

2 NBC 災害発生時対応Ⅱ (Module5.1-2)・・・一部変更

(1) 概要

これまでは、東京消防庁警防部による講義(60分)のみであったが、装備資器材の種類、特性等の理解をより深めるため、NBC災害を想定した化学機動中隊による活動展示、解説を行う。

(2) カリキュラム

種別	内 容	担 当	時間
座学	・NBC災害時における東京消防庁の対応 ・写真で見る活動フロー	・東京消防庁特殊災害課 ・消防署の化学機動中隊	30分
活動展示	・装備資器材の説明 ・NBC災害の発生を想定した東京消防庁の活動モデル（解説含む）		30分

3 多数傷病者発生事案 野外シミュレーション (Module 7)・・・一部変更

(1) 訓練想定を変更

(旧) 交通事故による多数傷病者（脱出不能者あり）

(新) 東京消防庁の訓練施設を最大限活用し、建物倒壊による多数傷病者（脱出不能者あり）の訓練想定に変更する。

(2) ターニケットの活用

現場携行用資器材として、昨年度末に配備したターニケットを訓練想定の中で使用し、適応判断や取扱要領の習熟を図る。